

日本哲学会 第 65 回大会（東北大学）プログラム

2006 年 5 月 20 日（土）＜第 1 日目＞

10:00	【研究発表第 1 会場】（法 3 番教室） 悪の研究 ―儒学における「悪」の概念をめぐる― 張政遠 「ソープロシュネーとは何か」 ―プラトン『カルミデス』における徳と「思い」― 波多野知子 アリストテレス『トピカ』における固有性の概念 高橋祥吾	【研究発表第 2 会場】（文・教大講義室） 無限の論理と無限の美感 ―カントの崇高論― 佐藤恒徳 感性的なものの系譜 ―カントとバウムガルテン― 中澤武 質のカテゴリーと時間性 滝沢正之	【研究発表第 3 会場】（文大講義室） 創造の持続 ―ベルクソンの創造論について― 平光哲朗 ベルクソンにおける「方法」と「問題」 ―『意識の直接与件についての試論』を中心に― 村山達也 身体とその過去 ―E・レヴィナスの場合― 横地徳広
12:00	委員会(文学研究科研究棟 2F 大会議室)		
13:00	第 58 回総会（マルチメディア棟 2F マルチメディアルーム）		【第 58 回総会 式次第】 ・議長挨拶（清水哲郎） ・会長挨拶（野家啓一） ・一般報告（円谷裕二） ・前年度決算報告（高橋久一郎） ・会計監査報告（酒井潔） ・本年度予算案審議（高橋久一郎） ・編集委員会報告（古茂田宏） ・若手奨励賞表彰式 ・その他
13:50			
14:00	【シンポジウム】（マルチメディア棟 2F マルチメディアルーム） 「近代日本哲学のポテンシャル」 提題者 藤田正勝 司会者 山内廣隆 坂部恵 K.リーゼンフーバー 隈元忠敬		
17:00	休憩		
18:00	懇親会（仙台ワシントンホテル 2F レインボーホール） （会費 5,000 円）	大会本部（哲学倫理学合同研究室、Tel:022-795-6012、6015） 会員控室（文学研究科研究棟 2F 109・110 教室） 事務局室（文学研究科棟 3F 中会議室 Tel：022-795-6085(大会当日のみ)）	
20:00			

2006 年 5 月 21 日（日）＜第 2 日目＞

10:00 【研究発表第 1 会場】（法 3 番教室） デカルト『方法序説』第二部における方法と徳の問題 津崎良典 スピノザの目的原因論批判 大塚淳 無限小と不可分者 ー前期ライブニッツにおける微積分の形而上学 池田真治		【研究発表第 2 会場】（文・教大講義室） フィヒテ後期知識学の原理による古典集合論の哲学的基礎づけ 本田敏雄 死と再生 ーヘーゲル『精神現象学』における意識の経験を導きとしてー 鈴木亮三 価値相対主義と道德の問題 ーニーチェのキリスト教的道德批判をめぐって 吉田一人		【研究発表第 3 会場】（文大講義室） 最晩年ウィトゲンシュタインの連続主義の意味するもの 山田圭一 クリプキのパズルは何に由来するか 長澤英俊 指示対象の「与えられ方」は固有名に不要か？ ーウェットスタインの議論を手掛かりにー 藤川直也		【ワークショップ】（経 3 講義室） テーマ：哲学教育を考える 提題者：池田耕一 （松下電器産業株式会社 法務本部 企業倫理室室長） 冠木雅夫 （毎日新聞社 編成総センター室長） 杉田正樹 司会者：坂井昭宏 篠澤和久	
12:00 委員会(文学研究科研究棟 2F 大会議室)							
13:00 【研究発表第 1 会場】（法 3 番教室） ロックの物質理論 ーデカルト批判、実験哲学の擁護という観点からー 青木滋之 ヒュームのシンパシー論と共同体の成立 ーホッブズ批判の視点 矢嶋直規 プラグマティズムの成立過程 ーパナイティオスからデューイにいたる思想史の試みー 柴田悠		【研究発表第 2 会場】（文・教大講義室） ハイデggerにおける「形而上学の完成」と近代理解 ー『杣径』を中心として 中村光一 意志の解明 金子裕介 自由な自然の倫理的意味 ーゼール自然倫理学の射程ー 菅原潤		【研究発表第 3 会場】（文大講義室） 科学理論における意味の時空間について ーカヴァイエスの概念の哲学よりー 近藤和敬 <最少限の自然主義>と多元論的自然主義の可能性 井頭昌彦 現実性・可能性・必然性について ー論理的決定論の検討を通してー 伊佐敷隆弘			
15:00~15:10 休憩							
15:10 【共同討議Ⅰ】（法 3 番教室） 「哲学史を読み直す(第一回):スピノザ」 提題者 上野修 佐藤一郎 司会者 柴田寿子				【共同討議Ⅱ】（経 3 講義室） 「人と動物の間」 提題者 高田純 樫則章 司会者 石崎嘉彦			
17:10 終了							